

日本社会福祉愛犬協会 中国支部創設

この度、中国に「日本社会福祉愛犬協会中国支部」を創設することが決まりました。

中国へは、3年前の2014年12月に大島千尋前理事長が訪中し、中国牧畜業協会の副会長でNGKC（ナショナル・ゼネラル・ケネル・クラブ）の会長を務める王武氏と上海で会談を果たし、今後、日本・中国・韓国の三国が中心となって、アジアの犬界の発展を牽引すべく、お互い友好関係を結ぶことを約束しました。

その際に協力をお願いしたのが、KC ジャパンが最も力を注いでいる豆柴における国際的な普及についてであり、その後NGKCとは審査員の派遣について提携を結ぶに至り、近年は多くのKCJ国際審査員を中国のドッグショーやトリミングコンテストに派遣しています。

そして2年前の2015年11月には、UAKC（Union of Asian Kennel Club アジア愛犬連盟）において、新犬種「豆柴」が国際公認され、大きく世界に羽ばたく「MAMEHSHIBA」が現実のものとなったことは皆さんもご存知のとおりです。

この度の中国支部創設は、豆柴の国際進出をさらに進めることを目的に実現しました。今後は中国国内で豆柴を飼う人は認定審査、豆柴の繁殖においてすべて中国支部に所属することとなり、申請はすべて中国支部を通じて日本の事務局に送られKCJの豆柴の血統証は中国支部に送り返されるシステムへと事務手続きを一本化することとなりました。

海外における認定審査は、犬種が「豆柴」の子犬が12か月経過後に受ける認定審査のみですので、柴犬を「豆柴」に認定することはありません。日本より輸出される犬種が「豆柴」の認定合格犬同士による繁殖は解禁しますので、今後、中国国内における豆柴ブームの到来が大いに期待できます。

■日本社会福祉愛犬協会 中国支部



所在地

中国北京市大興区亦莊經濟技術開発区林肯公園C区36号楼1102室。

担当者と電話番号:

王凱恩 86-13716610724 (日本語のみ)

王建民 86-15170282994 (中国語のみ)